

～生育速報～

稲作情報

I.6月 29 日現在の生育状況

H29. 6. 30 JA 越後さんとう

速報!

品種名		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
ゆきみのり	管内平均	49	578	10.2	39.5
	平年比(差)	76%	118%	-0.9	-1.4
わたぼうし	管内平均	52	513	10.6	42.9
	平年比(差)	85%	121%	-0.3	+1.9
ゆきの精	管内平均	44	558	10.2	43.0
	平年比(差)	80%	115%	-0.5	+6.0
こしいぶき	管内平均	43	536	10.0	44.5
	平年比(差)	79%	114%	-0.2	+4.0
五百万石	管内平均	41	403	9.8	38.2
	平年比(差)	73%	100%	-0.9	-1.0

6月の天候は、夜間の気温が低く、降雨の少ない気象傾向が続いたことから、品種を問わず、平年より草丈の短い稲姿となっています。また、夜温が低く推移したことから、稲体の消耗が少なく葉色はやや濃い状況となっています。

まもなく早生品種の1回目の穂肥時期を迎えますが・・・

- ① **穂肥1回目**：倒伏の懸念が少ないことから、早めの穂肥で籾数確保!
- ② **穂肥2回目**：後期栄養を確保する為、確実に穂肥!
- ③ **一発体系のほ場でも、葉色低下が懸念される圃場では、JA米使用基準の範囲(N成分)内で、追加穂肥を検討しましょう!**

II. 病害虫対策



- ① 6月26日に、いもち病感染好適条件が出現しました。しばらく不安定な天候が続くことから、地域・品種を問わずいもち病の発生と、被害の拡大が懸念されます。また、紋枯病や稲こうじ病にも注意が必要です。

➡ “適期防除”を徹底しましょう！

【JA 米基準：緊急防除剤】

	薬剤名	使用量・希釈倍数	摘 要	
治療剤	カスミン液剤	1,000 倍	いもち病	※穂揃い期まで
治療剤	バリダシン液剤 5	1,000 倍	紋枯病等	※収穫 14 日前まで
	バリダシン粉剤 DL	3~4 kg/10a	紋枯病等	※収穫 14 日前まで
予防剤	Zボルドー粉剤 DL	3~4 kg/10a	稲こうじ病等	※出穂 10 日前まで

- ② 6月15日~19日の水稲病害虫予察調査において…
「斑点米カメムシ類」の多発生が確認されています。

“一斉草刈りウィーク” 7月9日~7月15日
~ 地域全体で斑点米カメムシ撲滅運動! ~

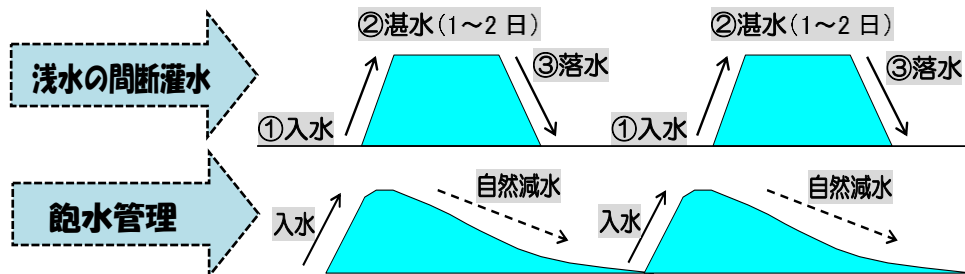


III. 今後の水管理

幼穂形成期~登熟促進には水管理が重要です!



➡ 今後はしばらく不安定な天候が続く見込みです。水稲が最も水分を必要とする“出穂期”を迎えることから、浅水の
間断灌水や飽水管理を使い分け、コンバイン収穫に支障のない地耐力の確保に努めましょう。



適正な水管理で、登熟後期まで土壌水分と後期栄養を維持し、稲体を健全に保ちましょう!



★★ 水稲の“生育診断”はJAにお任せください! ★★

皆様からの要望で現地ほ場に出向き、水稲の幼穂長や草丈・茎数・葉色等の生育を診断し、穂肥施用と栽培管理に係る個別指導を行います。【ぜひご利用下さい!】

生育診断チーム 設置期間：7月上旬~7月下旬頃まで

~ 詳細につきましては、お気軽に最寄りの営農センターへお問い合わせください! ~